

保証書

この製品は厳密な品質管理および検査に合格し、製造出荷された製品です。しかし通常のご使用において万一自然故障や調整の必要が生じた場合は保証規定に従い保証いたします。

《保証規定》

1. 本機の取扱説明書、本体貼付の注意ラベル等に従った正しい使用状態で保証期間内に故障した場合には無償修理いたします。お買上げの販売店に商品の本保証書とともにご持参ください。また送付を希望される場合は送付先を販売店にご確認ください。
2. 次の場合は保証期間中でも有償修理となり、実費にて申し受けます。
 - (a) お取扱いの不注意及びお客様ご自身による修理改造が原因の故障または損傷。
 - (b) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障または損傷。
 - (c) 火災、地震、水害、落雷などの天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧や指定外の電源使用などによる故障または損傷。
 - (d) 本保証書のご提示がない場合。
 - (e) 本保証書に品番、製造番号、お買上げ年月日、お客様名、住所、販売店名の記入がない場合、あるいは記入内容を改ざんされた場合。
3. 万一、ラミネート加工に失敗した場合やラミネート加工により原稿が損傷し再生不能となった場合でも、原稿に対する保証は致しかねます。
4. 本商品はお客様にお持ち込み、またはご送付頂く修理となっております。修理ご依頼品のご持参及びお持ち帰りの交通費など、またご郵送される場合の郵送料金及び諸掛かりは、お客様のご負担となります。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only for Japan.

※この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理等については、お買上げの販売店又は弊社にお問い合わせください。

品番	PLB-R2A32	製造番号		
保証期間	お買上げ	年	月	日より6カ月間
お客様	ご住所 〒	_____		
		TEL _____		
販売店	住所・店名・TEL _____			

★販売店様へ：必要事項をご記入の上、お客様へお渡しください。

●この商品に関するご意見、ご質問については下記へお寄せ下さい。

ナカバヤシホームページは下記のアドレスでご覧になれます。
<http://www.nakabayashi.co.jp/>

ナカバヤシ株式会社

〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1番23号

お問い合わせは TEL: 0120-166-779 14.04

Personal Laminator

LAMI BOX PAPER

Nakabayashi

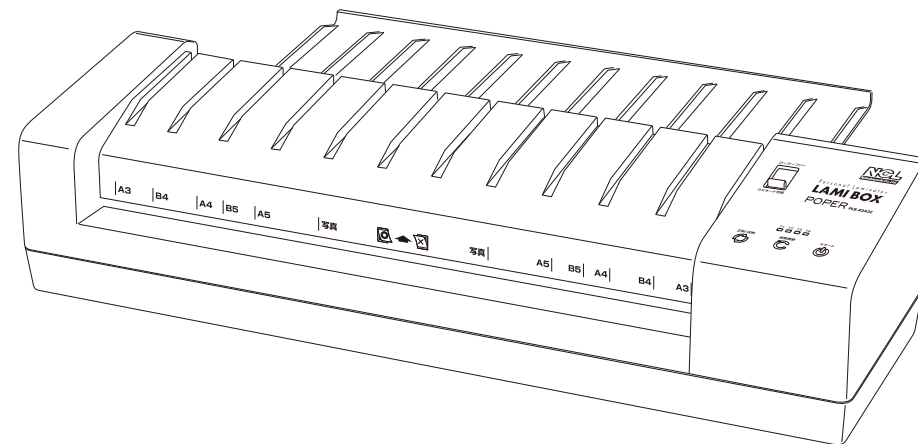
パーソナルラミネータ
ラミボックス ポッパー
PLB-R2A32

取扱説明書

●保証書付●

この度は、パーソナルラミネータPLB-R2A32をお買上げいただき誠にありがとうございます。

- この「取扱説明書」は本機の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。
- 本機の性能を十分発揮させ、安全で効果的なご使用をしていただくためにも、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にご利用ください。



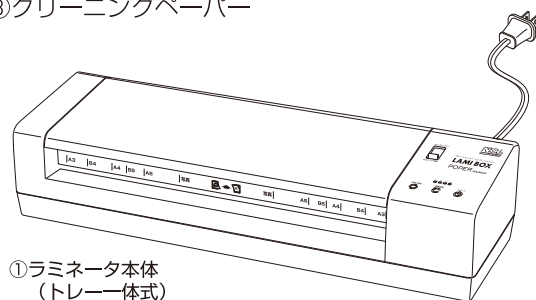
PERSONAL LAMINATOR

目次

目次・梱包内容の確認	1
安全上の注意事項・機械の設置上の注意事項	2~3
各部の名称と働き	4
ラミネートについて・ラミネートする前のご注意	5
ラミネートを行う①	6
ラミネートを行う②	7
ラミネートを行う③	8
フィルムぶまりのトラブル	9
ローラークリーニング・本体のお手入れ	10
ラミネートQ&A	11
主な仕様	12
故障かな?と思ったら	13~14
保証書	裏表紙

梱包内容の確認

- ①ラミネータ本体（トレー一体式）
- ②取扱説明書（保証書付き）
- ③クリーニングペーパー



①ラミネータ本体
（トレー一体式）



②取扱説明書（保証書付き）












③クリーニングペーパー

ラミネータ本体および付属品がそろっていることを確認してください。
足りない物がある時は、お買い上げの販売店へご連絡ください。







症状	原因／処置
・フィルムの端が折れて出てくる	・ローラークリーニングをしてください。ローラーが汚れているとフィルムの先端が折れて出てきたり、フィルムぶまりの原因になります。▶ P.10
・ラミネートフィルムが汚れて出てくる（白い線が付く）	・ローラークリーニングをしてください。▶ P.10 ・フィルムに付着した粘着剤の汚れは中性洗剤で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどは使用しないでください。
・ラミネートフィルムが途中で止まった（カタカタと異音がる） ・排出口から出てこない	・フィルムぶまりが起きています。すぐに電源スイッチを「OFF」にし、ローラーフリースイッチを「ローラーフリー」にして、フィルムを取り除いてください。▶ P.9
・フィルムがつまる	・原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。▶ P.6 ・ローラークリーニングをしてください。ローラーが汚れているとフィルムぶまりの原因になります。▶ P.10 ・反っている原稿や極端に薄い原稿をラミネートするとフィルムぶまりの原因になります。 ・必ず「ナカバヤシ」のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わないとは正しくラミネートできません。



いずれの場合も異常がないのに、正しくご使用いただけない場合には電源を「OFF」の状態にして電源プラグを抜き、弊社または販売店にご相談ください。

	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	お子様だけの使用や乳児の手の届く所での使用は避けてください。やけど、感電の恐れがあります。
	本機の分解や改造はおやめください。ケガや感電の恐れがあります。
	本機に水などの液体をかけないでください。感電や故障の原因になります。
	電源コード・プラグを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因になります。
	機械のすき間に異物を差し込まないでください。火災や機械の故障の原因になります。
	機械の内部や外部の掃除等に、可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。
	発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがする等の異常状態のまま使用すると、火災、感電の恐れがあります。すぐに使用をやめて電源プラグをコンセントから抜き、弊社または販売店にご相談ください。
	コードに触れて通電したりしなかったりする場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグを抜いて弊社または販売店にご相談ください。そのまま使用すると火災、感電の恐れがあります。

注意 ●機械のご使用上の注意事項

	使用中の機械上部およびラミネート直後のフィルムは大変高温になっています。やけどに十分ご注意ください。
	髪の毛、ネクタイ、ネックレス等の巻き込まれる危険のある物は、フィルム挿入口に近づけないでください。巻き込まれてケガをする恐れがあります。
	長時間機械をご使用にならない場合は、必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ラミネート作業中はそばを離れないでください。
	ラミネート以外の用途に使用しないでください。事故や故障の原因になります。
	1時間以上連続で使用しないでください。1時間経過後は、30分以上電源スイッチを「OFF」の状態でご休ませた後、再度ご使用ください。本製品は業務用ではありません。
	本機を電源が入ったまま約1時間以上ご使用されない場合は、自動休止機能が作動し自動的にローラーが停止し温度が下がります。(スタートランプのみが点滅した状態になります) 再度ご使用になる場合は、スタートランプをタッチし、温度調整ランプで温度設定してください。

主な仕様

品番	PLB-R2A32
本体寸法	W485×D150(350)×H132mm ※()はトレーを開いた状態
本体重量	約3.4kg
電圧・周波数	100V・50/60Hz
消費電力	500W・50/60Hz
最大ラミネート幅	335mm
最大ラミネート厚	0.8mm (フィルムと原稿を合わせた厚み) ※原稿の厚みは約0.5mmまで
対応フィルム	100 μ m・150 μ m ※原稿の厚みが約0.5mmの場合は150 μ mを使用
ラミネート速度	約320・380mm/分 (50/60Hz)
ウォームアップ時間	約6分 (50/60Hz)
温度設定	約110～140 $^{\circ}$ C (4段階切替え)
コードの長さ	約1.5m
主要材質	ABS樹脂・スチール
付属品	クリーニングペーパー

※改良のため、予告なく仕様・外観を変更することがあります。※仕様の数値は、使用条件などにより変化する場合があります。

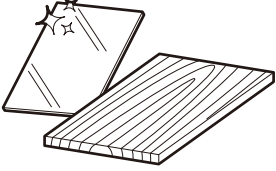
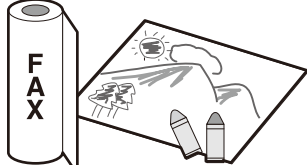

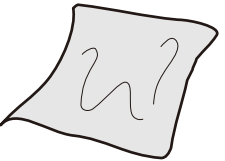
ラミネートについて

●ラミネート ▶ P.6~

最も一般的なラミネート方式です。パック式のフィルムに原稿をはさみ込み、熱とローラーの圧力で原稿に接着します。一度に両面がラミネートされます。

- 特長**
- ・ラミネートすると紙がプラスチックのように丈夫になり、水・汚れ・傷から守り偽造防止効果も高まります。
 - ・原稿をフィルムにはさんでラミネータに通すだけの簡単操作で美しいラミネートが可能です。

ラミネートできないもの 次のようなものはラミネートしないでください。

紙以外の物  金属・木片・布等	熱により変色・変質する物  感熱紙・クレヨン画等
クレジットカード等の磁気カード 	可燃物・軟化しやすい物  セロハン・ビニール製品等

その他、先端が尖った物や折れ曲がっている物等

注意 感熱紙や昇華型熱転写プリンタで印刷した原稿をホットラミネートすると、時間が経って像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

ラミネートする前のご注意

一度ラミネートした物をはがしたり、やり直したりすることはできません。また、誤った使用方法によりラミネートを失敗すると、フィルムがつまって故障の原因となることもあります。ご使用方法に従い正しくお使いください。

注意 ・たった一枚しかないような大切な物はラミネートしないでください。
・本機の使用による用紙等の破損・損失につきましては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

ローラークリーニング

●ローラークリーニングを行わないと…

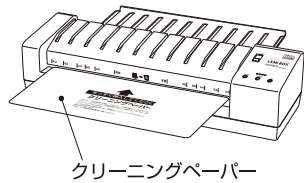
- ・フィルムづまりが起きる
- ・フィルムの先端が折れてラミネートされる
- ・ラミネートした物に汚れ（白い線）が付着する

▶ これはフィルムからはみ出した粘着剤がローラーに付着するためです。

このようなトラブルを防ぐためにも、定期的にローラークリーニングすることをおすすめします。

・クリーニングの方法

ラミネータの温度が高い状態（通常のラミネートが可能な状態）で、付属のクリーニングペーパーをフィルム挿入口から入れてください。これを数回繰り返すと、ローラーに付着した粘着剤が取り除かれローラーがクリーニングされます。



・クリーニングを行う頻度

ラミネート作業が一通り終了するごとに、また一度にたくさんラミネートする場合は約10枚に1回の割合でローラークリーニングを行なってください。





注意 クリーニングペーパーはまっすぐ挿入してください。斜めに入れると機械内部でつまり、故障の原因になります。

●クリーニングペーパーがなくなったら

付属のクリーニングペーパーは繰り返しご使用いただけますが、汚れがひどくなったり、紛失した場合には厚紙（無地）で代用することができます。ただし、印刷や特殊なコーティングがされている物は避けてください。

本体のお手入れ

本体カバーは柔らかい布で乾拭きしてください。（中性洗剤・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。）

	お手入れの際には必ず電源プラグを抜いてください。
	機械に直接水をかけての掃除、ベンジン・シンナー・アルコール等は使用しないでください。
	本体カバーを取り外してのお手入れはしないでください。感電や故障の原因となります。
	機械の内部や外部の掃除などに可燃性スプレーや可燃性揮発物等を使用しないでください。引火の恐れがあります。

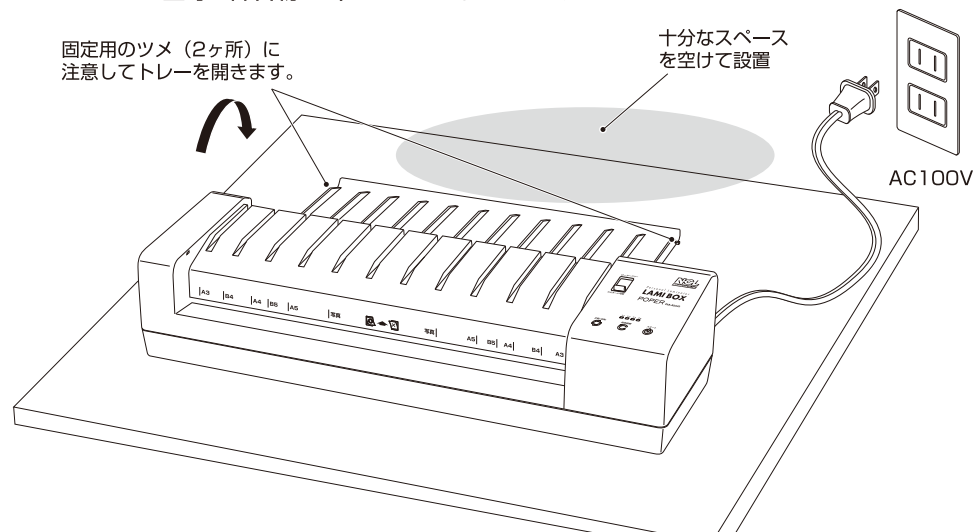
ラミネートを行う②

ラミネータの準備

1.ラミネータを設置します。

- ・ラミネータを水平な場所に設置します。
- ・電源プラグをコンセントに差し込みます。

注意 ラミネータの後ろのスペースを十分に空け、ラミネートされて出てきたフィルムが壁等の障害物に当たらないようにしてください。



2.電源スイッチを「ON」にし、スタートランプをタッチします



電源スイッチを「ON」にします。スタートランプが点滅します。点滅したスタートランプをタッチしてください。操作確認音が「ピッ、ピッ」と鳴りスタートランプと温度調整ランプが点灯し、ローラーが回転します。

3.温度設定を行いません



「温度設定の目安」を参考に、原稿やラミネートフィルムの厚みに合わせて温度 (T1~T4) を設定してください。点灯している温度調整ランプをタッチして設定します。選んだ温度で点滅します。
※左図は100 μ mのフィルムで薄物の原稿をラミネートする場合の設定です。

温度設定の目安

ラミネートするフィルム・原稿の厚みに合わせて設定温度を調節してください。

T1 100 μ m (原稿薄) 原稿の厚みはコピー用紙・カタログ・雑誌などは薄。写真・ハガキ・画用紙などは厚を自安にしてください。
T2 100 μ m (原稿厚)
T3 150 μ m (原稿薄)
T4 150 μ m (原稿厚)

●原稿の例

原稿薄 - コピー用紙・カタログ・雑誌等。
原稿厚 - 写真・ハガキ・画用紙等。

※ラミネートできる原稿の厚みは約0.5mmまでです。また約0.5mm厚の原稿をラミネートする場合は、150 μ mのフィルムでご使用ください。

ラミネートを行う③

ラミネートの開始

4.温度表示ランプが点灯するまで待ちます

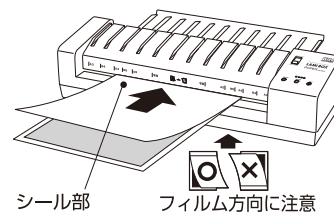


- ・約6分後に操作確認音が「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴り温度表示ランプが点灯します。

●待ち時間について
時間は室温や温度設定により異なります。

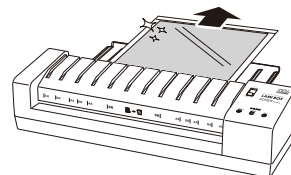
※記載の時間は室温が約25 $^{\circ}$ Cで100 μ m (原稿薄) の場合の実測値です。
※内部のローラーが加熱されるため、ゴムのにおいが発生しますが使用上の問題はありません。

5.温度表示ランプが点灯したらフィルムを挿入します



- ・原稿をはさんだフィルムを、サイズ表示を目安にして挿入口からまっすぐに入れます。ローラーにフィルムがあたると自動的に送り込まれます。
 - ・フィルムを強く押し込まないでください。先端が折れ曲がりフィルムづまりの原因となります。
- 必ずフィルムのシール部側から挿入してください。

6.排出口よりラミネートされて出てきます



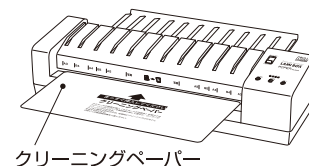
フィルムが背面の排出口から完全に出てきてからフィルムを取り出し、平らなところに置いて冷ましてください。

ラミネート直後のフィルムは高温になっています。やけどには十分ご注意ください。

- ・ラミネート後はできるだけ速やかにフィルムを取り出してください。排出口に放置すると、加熱により折れ曲がったりシワになったりします。また、ラミネート直後のフィルムは変形しやすくなっていますので取り扱いにご注意ください。
- ・続けてラミネートする場合は、必ず先に入れたフィルムを取り出してから行ってください。

ラミネートの終了

7.ローラークリーニングを行います



- ・作業が一通り終了したら、クリーニングペーパーを数回通してローラークリーニングを行ってください。
- ・一度にたくさんラミネートする場合は、約10枚に1回ぐらいの割合でローラークリーニングを行ってください。

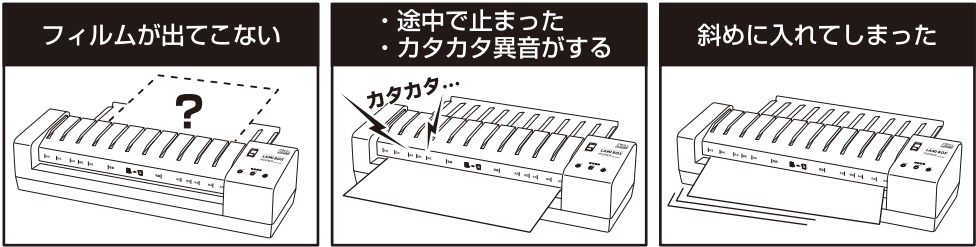
【▶ P.10「ローラークリーニング」参照】

8.ラミネータの終了

- ・電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。「スタートランプ」「温度調整ランプ」および「温度表示ランプ」が消灯し、ローラーの回転が停止します。

フィルムづまりのトラブル

本機はフィルムづまりを未然に防ぐオートリバース機能（フィルムづまりをセンサーで検知して自動でローラーを逆回転します）を搭載していますが、まれにローラーの汚れ・フィルムに余白が多い・フィルム挿入方向の間違いなどが原因でフィルムがつかまってしまうことがあります。下図のような状態の時は、すぐに電源スイッチを「OFF」の状態にしてください。



注意 ラミネート作業中はそばを離れないでください。上図のような状態に気付かず放置した場合は、フィルムを取り除くことが非常に困難になったり、機械の故障や火災の原因になります。

つまったフィルムの取り除き方

1.正転/逆転ランプをタッチします

正転/逆転ランプが点灯し、操作確認音が「ピッ」と鳴ります。ローラーは逆回転しフィルムは排出されます。出てこないようであれば、本体をおさえながら軽くフィルムを引き出します。取り除ければ3.のローラークリーニングを行ってください。取り除けない場合は2.のローラーフリーの操作を試してください。

2.電源スイッチを「OFF」にし、ローラーフリースイッチを操作します

本体背面の電源スイッチをOFFにします。ローラーフリースイッチを「ローラーフリー」にして、本体をおさえながらフィルムを取り除きます。

本体・フィルムは高温になっていますのでやけどには十分ご注意ください。

注意 電源スイッチを「ON」のままローラーフリースイッチを操作しないでください。発煙、発火が起きる可能性があります。

3.ローラークリーニングを行います

フィルムを取り除いた後は必ずローラーフリースイッチを「ラミネート可能」位置に戻してローラークリーニングを行ってください。フィルムがつかまると粘着剤がローラーに多く付着するので、そのまま使用を続けるとフィルムづまりが起りやすくなります。

注意 上記の方法でフィルムを取り除くことができない場合は、弊社または販売店にご相談ください。お客様での分解・修理はしないでください。

ラミネートを行う①

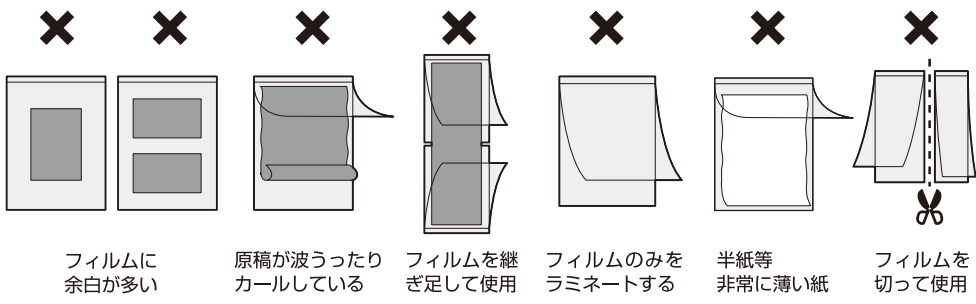
ラミネートフィルムの準備

注意 フィルムは必ず弊社のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特性が合わない、シワの発生やフィルムづまりの原因となります。

ラミネートフィルムに原稿をはさみます

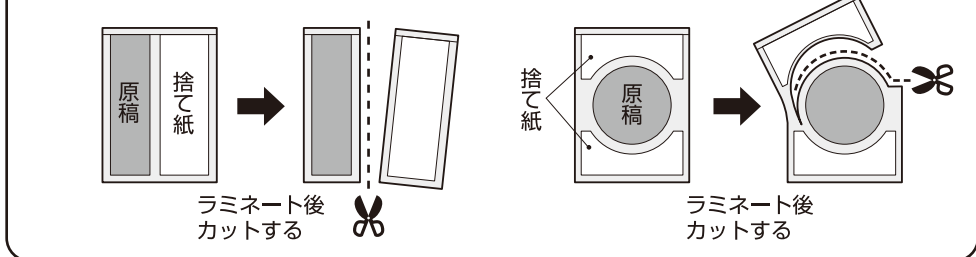
- ラミネートフィルムは原稿よりも2~5mm位大きい物をご用意ください。または原稿のサイズを調整してご使用ください。
- 原稿はフィルムのシール部に当たるまで差し込んでください。余白が多いとローラーに巻き付きやすくなりフィルムづまりの原因となります。
- ラミネート可能な厚みは原稿とフィルムを合わせて最大0.8mmまで（原稿の厚みが約0.5mmで、150μmのフィルムを使用）です。ただし原稿の厚みが約0.5mmを超える場合は、原稿の周囲が十分に接着されない場合があります。

注意 次のようなラミネートはシワの発生やフィルムづまりの原因となりますのでおやめください。



最適なサイズのフィルムがない場合は

注意 最適なサイズのフィルムがない場合は、図のように「捨て紙」を入れてラミネートした後、不要な部分をカットしてください。



ラミネートQ&A

Q1：写真をラミネートしても大丈夫？

A：問題ありません。ただし、インスタント写真は撮影後数日はローラーの圧力で写真の中の水分が漏れ出すことがあります。一週間程度待って写真が十分に乾燥してからラミネートしてください。

Q2：カラーコピーやカラープリンタで作成した原稿をラミネートしても大丈夫？

A：カラーコピー、インクジェットプリンタ・熱転写プリンタ等は問題ありません。ただし昇華型熱転写プリンタで作成した原稿は時間経過により、像がぼやけたり退色したりすることがありますのでご注意ください。

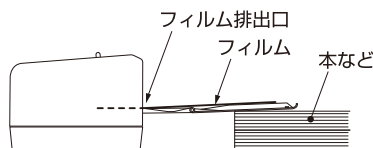
Q3：作業途中で設定温度を操作する場合は？

A：温度調整ランプをタッチしてください。一回押すごとに温度表示ランプが右に移動します。設定温度に満たない場合は、温度表示ランプが点滅します。暫くすると再点灯します。点灯した事を確認してからラミネートしてください。
※設定温度を低くする場合は、ローラーの表面温度が下がるまで少し時間がかかります。

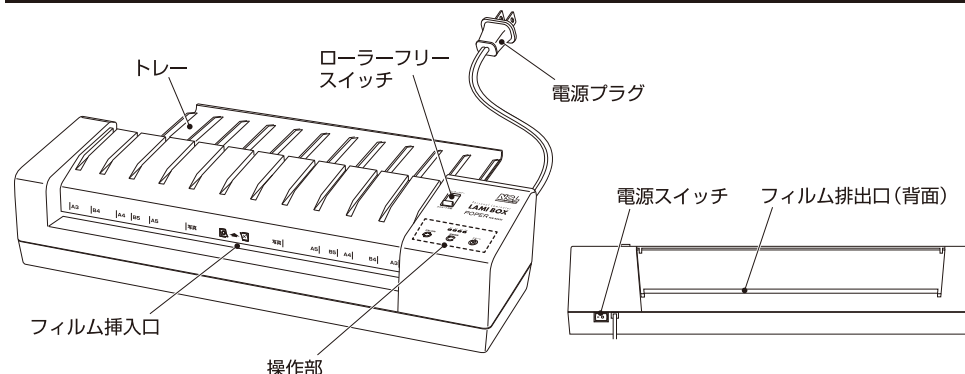
Q4：ラミネートしたフィルムが反るのですが…（トレーより長いフィルムを使用した場合）

A：ラミネート直後のフィルムは軟らかくなっているため反ることがあります。よりきれいに仕上げるためには、トレーの下に本などを積んでフィルムがまっすぐ出てくるようにしてください。

注意 フィルム排出口をふさがないように、高さには十分ご注意ください。



各部の名称と働き



電源スイッチの説明

「ON」：電源が入り、操作部のスタートランプが点滅し操作可能な状態になります。
「OFF」：電源が切れます。



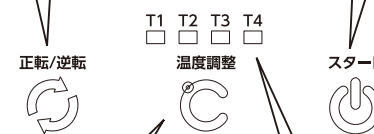
操作部の説明

正転/逆転ランプ（正転/逆転切換スイッチ）

タッチすると点灯しローラーが逆回転して詰まったフィルムを排出します。また、オートリバース機能が作動した場合にも点灯します。

スタートランプ（スタートスイッチ）

タッチすると点滅から点灯に変わりローラーが回転し温度調整が可能な状態になります。



温度調整ランプ（温度調整スイッチ）

タッチする毎に温度表示ランプが変わります。(消灯→T1→T1・T2→T1・T2・T3→T1・T2・T3・T4→消灯→)
ウォームアップ（温度設定）中は点滅し、ラミネートが可能な温度に達すると点灯します。

温度表示ランプ

ラミネートするフィルム・原稿の厚みに合わせて調整してください。原稿の厚みの目安はコピー用紙・カタログ・雑誌などは原稿薄。写真・ハガキ・画用紙などは原稿厚です。
T1 100 μ m（原稿薄） T3 150 μ m（原稿薄）
T2 100 μ m（原稿厚） T4 150 μ m（原稿厚）

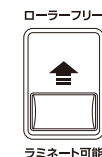
!! タッチ操作は指の腹でゆっくり行ってください。タッチパネルの反応は静電気の影響や個人差により異なる場合があります。

ローラーフリースイッチの説明

ローラーを逆回転してもフィルムが排出されない場合、ローラーフリースイッチを操作して詰まったフィルムを引き抜きます。

「ローラーフリー」：フィルムづまりの時のポジションで、電源スイッチをOFFにしてから操作します。

「ラミネート可能」：通常ラミネートする時のポジションです。




故障かな？と思ったら トラブル時のチェックポイント

症状	原因／処置
<ul style="list-style-type: none"> ・動かない ・スタートランプが点滅しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ・電源スイッチを「ON」にしてスタートランプをタッチしてください。▶ P.7
<ul style="list-style-type: none"> ・温度表示ランプが点灯しない ・温度が上がらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・温度調整ランプをタッチして設定する温度を選んでください。T1の設定の場合は約6分で温度は上がりランプが点灯します。 ・クーラーや扇風機の風が本機にあたらないようにしてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ラミネートフィルムが入っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチが「OFF」になっていませんか？ ・スタート・温度調整・温度表示ランプが点灯していますか？ ・フィルムと原稿を合わせた厚みが0.8mmを越えるとラミネートできません。 ・ローラーフリースイッチが「ローラーフリー」になっていませんか？「ラミネート可能」にしてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・仕上がりが白っぽい ・密着性が悪い ・フィルムにシワが発生する 	<ul style="list-style-type: none"> ・温度設定を原稿の厚みに合わせて設定してください。 ・温度表示ランプが点灯してからご使用ください。点滅したら点灯するまでしばらくお待ちください。 ・原稿が厚い（約0.5mmまで）と原稿の周囲の余白部分がしっかり密着しない場合があります。 ・原稿が極端に薄すぎると、フィルムに熱がかかりすぎてシワが発生することがあります。 ・原稿の紙質によっては、熱による収縮によってシワが発生することがあります。 ・湿気を含んだ原稿では正しくラミネートできません。 ・反り・折れ・シワのあるような紙はきれいにラミネートできません。 ・原稿のサイズに合ったフィルムをご使用ください。フィルムに余白が多いとシワや巻き込みの原因となります。最適なサイズのフィルムがない場合は捨て紙を入れてラミネートしてください。▶ P.6 ・フィルムは原稿よりも2～5mm大きいものをご用意ください。または原稿のサイズを調整してください。▶ P.6 ・フィルムを挿入口に無理に押し込んだり、排出口から無理に引っ張ったりしないでください。 ・排出口から出てきたフィルムは速やかに取り出してください。放置するとフィルムの端が熱で折れたりシワになります。 ・熱風や冷風、扇風機の風が本機にあたらないようにしてください。 ・必ず「ナカバヤシ」のラミネートフィルムをご使用ください。フィルムの特徴が合わないと正しくラミネートできません。 ・本機の使用時間は1時間です。1時間経過後は、30分以上電源スイッチを「OFF」の状態でご休ませた後、再度ご使用ください。

安全上の注意事項 安全のため必ずお守りください

この取扱説明書には製品を安全に正しくお使いいただき、事故や損害を未然に防止するために絵表示を使用して注意事項を注記しています。次に絵表示の内容と意味を表記しますので、理解してから本文をお読みになり本機を使用してください。

 **警告** この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される場合を示しています。


 禁止事項を示します。禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、ケガを負う危険があります。禁止の内容を  の中に絵文字で示します。

 要請事項を示します。要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。要請の内容を  の中に白抜き絵文字で示します。


 機械を使用する際の保守上の注意及び補足や参考を示します。


機械の設置上の注意事項

 **注意** ●機械の設置上の注意事項


 次のような場所への設置は避けてください。


- ・直射日光のあたる場所
- ・極端に温度や湿度が高いまたは低い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所
- ・ほこりや振動の多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所


 機械の上に物を置かないでください。本体上部は高温になるため、置いた物が変形したり、機械の故障の原因となります。

 機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

 **警告** ●機械のご使用上の警告事項

 表示された電源・電圧以外で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電の恐れがあります。

 熱に弱い敷物の上や、燃えやすい物の近くで使用しないでください。火災や機械の故障の原因になります。

 お子様や乳幼児の手の届く所に設置しないでください。やけど、感電の恐れがあります。